

市議団速報

e-mail:info@jcp-niigata-shigidan.com NO.143

2016年7月17日
日本共産党
新潟市議会議員団
電話 025-226-3450
FAX 025-223-7748

6月議会一般質問に3氏 市民の声を議会に届ける

臨時保育士の待遇改善と

学校給食の無料化を迫る

渡辺有子議員



渡辺議員は臨時保育士の任期は最長でも1年で、再度採用されても新たな任期での採用になり、経験年数に応じた賃金単価が設定されていない。経験加算を導入するなど市独自で早急に待遇改善を行うべきではないか、と市に迫りましたが、市側は「今年度、賃金単価の増額改定を行った。今後は持続可能な行財政運営を前提としながら、経験加算を含めて引き続き検討していく」との答弁にとどまりました。

また、地域社会全体で子育てを支えるという観点から学校給食を全員無料にすることが望ま

しいが、財政負担などの問題があり早期に実施できないのであれば、まずは要保護・準要保護世帯から無料化してはどうかと提案しました。

市側は「厳しい財政運営が続いており、経常的な財源を必要とする制度の拡充については、他の施策の在り方を含めて総合的に検討する必要があると考えている。」と、財源問題を口実に子育て世代への支援には消極的な姿勢を改めて示しました。

議員団の日程

- 7月19日～21日
文教経済常任委員会視察
倉茂議員
市民厚生常任委員会視察
渡辺議員、平議員
- 7月22日 会派代表者会議
広報委員会
墨田区の産業振興政策を学ぶ」勉強会
(新潟県中小企業家同友会主催)
- 7月23日 新潟市政の無駄遣いをやめさせる会
- 7月25日～27日
総務常任委員会視察
五十嵐議員、野本議員
- 7月27日～29日
環境建設常任委員会視察
飯塚議員
- 7月30日～8月1日
自治体学校

野本孝子議員の質問は2面に掲載してあります

子どもの貧困対策計画策定を BRTバス専用走行路の 社会実験をたたく

五十嵐完二議員



東大通りの駅方向を自ら撮影した写真をパネルにして質問する五十嵐議員

五十嵐議員は子どもの貧困について取り上げ、実態調査を実施し

て、数値目標も明確にした「子どもの貧困対策計画」を策定し、実効ある取り組みを進めるべきと市に求めました。これに対して市側は県の計画を踏まえ、他の自治体の実態調査なども参考に、本市の実態把握に努めるとともに、計画の策定の必要性を検討していくとの答弁でした。

また、市民注視のBRTに關しては駅前通りで行われるバス専用走行路の社会実験について質問。東大通りは片側4車線道路の内、専用走行路と島式ホーム、専用走行路を走らないバス乗り場などで最大3車線がとられ、自動車走行車線は1車線だけとなる。さらに島式ホームへの横断歩道と信号が設置されることになる。市民の交通の障害にならないのか、と市の見解をたきました。

市側は車線数が減少するため影響はあるが、この社会実験の目的は交通弱者などが利用しやすい環境整備を進めるため、自動車利用者には不便となるが実験を進めたいと答弁。影響があり、不便を認めつつも社会実験を行うとの姿勢を示しました。